

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：会計課

シート No.：126

作成日：2026. 5/15

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	—	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	—	近年のデジタル化に伴う多様な支払方法や収納手段に適正に対応するため、関係機関との連携をとり会計事務の効率的な運用を図ります。	・伝票の電子決裁による処理を推進し、事務処理の効率化及び事務処理時間の削減に努めます。 ・公金の振込手数料の有料化に伴い指定金融機関等との調整を行い有益な方法を検討します。 ・県西地区の市会計担当職員と連携し、会計事務の適正化及び効率化を図るための研究会を開催します。
	施策	—		
	施策内容	—		
	その他、拠法令及び分野別計画等	地方自治法 常総市会計規則		
事務事業名		出納事務		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	職員等研修 （R8・9・10）	職員等を対象に会計事務の理解を深め、適正な会計事務の遂行につなげます。	研修（回数）	3	3	0 千円	千円
②	庁内向け情報発信 （R8・9・10）	伝票作成を担当する職員及び会計年度任用職員を対象にデジタル化に伴う新たな支払方法を周知し支払い遅延等を防ぎます。	情報発信（回数）	12	12	0 千円	千円
③	公金手数料の削減 （R8・9・10）	EB 払い振込口座集約の実現のため手順の確立と説明会による周知を進め手数料の削減に努めます。	説明会（回数）	2	2	0 千円	千円
④	県西都市会計事務研究会 （R8・9・10）	県西地区内の会計事務担当職員を対象に近年のデジタル化による課題を抽出し、公金デジタル化への運用を目指します。	事務研究会（回数）	2	2	0 千円	千円
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
						令和9年度
① ②	電子決裁件数	電子決裁による事務処理の効率化により事務処理時間の削減になります。	82%	85%		90%
③	振込集約率	振込口座集約により手数料の削減になります。	13%	20%		令和9年度 30%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	